

**市民参加に関係する新しい事業や取組**  
 (平成31年1月29日から令和元年6月30日までに広報発表されたもの)

| 広報発表日 | 概 要  | 所属                     |
|-------|--|------------------------|
| 1月29日 | <p><b>ニシゴリラの愛称募集と愛称発表について</b></p> <p>京都市動物園で平成30年12月19日に誕生したニシゴリラの赤ちゃんの愛称を募集しました。</p> <p>募集期間を前期（平成31年2月19日（火曜日）から3月3日（日曜日）まで）・後期と分け、前期では愛称とその理由を自由記述で募集し、その中から動物園で3候補に絞り、後期（平成31年3月5日（火曜日）から3月21日（木曜日・祝日））では、3候補の中から投票していただき、最も得票が多かった愛称に決定することとしました。</p> <p><b>【03月05日（火） 愛称候補決定】</b></p> <p>キンタロウ・・・ゲンキの「ン」と「キ」、モモタロウの「タロウ」から。金太郎のように強く育てほしい。<br/>       リンタロウ・・・「凜」とした子になってほしい。父・母・兄と共に調和を取り、家族の「輪」を描けるように。</p> <p>カンタロウ・・・冬生まれなので。寒さに負けない強い子に育てほしい。</p> <p><b>【03月23日（土）愛称決定】</b></p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">キンタロウ</span> 962票<br/>       リンタロウ 910票<br/>       カンタロウ 649票</p> | 京都市文化市民局<br>動物園        |
| 2月15日 | <p><b>「はぐくみ文化の創造・推進」に向けた連携協定を締結！！</b></p> <p>子どもを産み、育てやすいまちづくりに取り組む北区役所は、昨年4月に教育学部を新設し、子どもたちとともに育つ「こころ先生」の育成を目指す大谷大学と、北区における「はぐくみ文化の創造・推進」等を目的に、新たな連携協定を締結しました。</p> <p>連携のポイントは、従来から北区役所が実施している子育てに係る主な事業（※）における協力と、区政の“今”を分かりやすく解説する区職員の講師派遣。今後、地域で子どもを見守り、子育てで大人も育つ「はぐくみ文化」の創造・推進に向けて、互いの強みを活かしながら一層取組を推進します。</p> <p>(1) <b>【ニコニコ北っ子】「つながるフェスタ」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学教員の「北区子育て支援推進会議」への参画</li> </ul>   | 北区役所<br>地域力推進室<br>企画担当 |

|       |   |                              |
|-------|---|------------------------------|
|       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生の参加協力 等</li> </ul> <p>(2) 【ニコニコ北っ子】「北区こどものまち」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生ボランティアの募集及び参加協力等</li> </ul> <p>(3) 区政に係る実践的な講義を行う区職員の講師派遣等</p>  |                              |
| 2月25日 | <p><b>投票するんジャープロジェクト進行中！</b></p> <p>東山区選挙管理委員会では、有権者に選挙に親しみを感じるもらうきっかけとして区オリジナルとなる選挙啓発の歌「投票するんジャーの歌」（以下、「歌」）を広めるプロジェクトを進行中です。</p> <p>プロジェクトでは、実際に「歌」を演奏や歌唱するバンドやグループを募集し、「歌」のカバー・バージョンを作成しています。この度、大谷中学・高等学校 軽音楽部、昭和保育園 ひまわり組によるバージョンを作成し、きょうと動画情報館で公開しました。</p> <p>タイトル：東山選挙啓発の歌 「投票するんジャーの歌」<br/> 作 詞：鷺頭雅浩（前東山区長）<br/> 作 曲：西野桂子（NPO 法人音の風 代表）</p> <p>また、プロジェクトではみんなでつくる！をコンセプトに区内で活動する様々なバンドやコーラスグループ、子どもたちに「歌」を演奏・歌唱してもらうカバー・バージョンを作成し、カバー・バージョンを収録したプロジェクトオリジナルCDを発表することが決定しました。（2020年1月発表予定）</p> <p>CD ジャケットは京都女子大学生生活デザイン研究所出井豊二先生による監修で、京都女子大学生生活造形学科の富田咲希さんにデザインいただきました。</p> | 東山区役所<br>地域力推進室              |
| 3月29日 | <p><b>左京区役所、久多自治振興会、立命館大学映像学部の連携による「久多地域」PR動画の製作について</b></p> <p>左京区の最北端に位置する久多地域において、地域が持つ伝統文化、文化財、自然等の魅力を広く発信するため、久多自治振興会の皆様、立命館大学映像学部の学生の皆様と連携し、久多地域のPR動画を製作しました。</p> <p>国指定重要無形民俗文化財「花笠踊」や京都市登録・有形民俗文化財「久多の山村生活用具」等を知っていただける動画になっています。</p> <p>(1) 映像でつづる京都久多「京都久多の夏 ～2018～」</p> <p>緑豊かな自然と懐かしい里山文化が残る久多地域の魅力をドローン等も活用して撮影しました。</p>   | 左京区役所<br>地域力推進室<br>まちづくり推進担当 |

|       |   |  |
|-------|---|--|
|       | <p>(2)映像でつづる京都久多「久多の山村生活用具～漁具～」<br/>563点ある京都市登録・有形民俗文化財「久多の山村生活用具」の一つである漁具の使い方について、地域の方に当時の実体験も含めてわかりやすく説明いただきました。</p> <p>(3)映像でつづる京都久多「久多の伝統行事～花笠踊～」<br/>国指定重要無形民俗文化財である花笠踊を練習風景から密着し、撮影しました。</p>  |  |
| 4月25日 | <p><b>京都市公式ホームページにおける「やさしい日本語」ページの公開について</b></p> <p>公式ホームページ「京都市情報館」において、「やさしい日本語」ページを公開しました。</p> <p>「やさしい日本語」は、簡易な表現を用いる、文の構造を簡単にするなどして、日本語に不慣れな外国人の方や障害のある方などにも分かりやすい日本語です。</p> <p>同ページでは、出生、引越の手続きや相談窓口などの生活情報や防災情報について「やさしい日本語」で御案内します。</p> <p>公開開始日：平成31年4月26日（金曜日）</p> <p>掲載内容：</p> <p>(1) 生活ガイド（出生、結婚、引越し等の手続き、各種健診、様々な相談窓口など）</p> <p>(2) 防災情報（防災危機管理室のやさしい日本語ページへリンク）</p> <p>⑦ 人材の育成</p> <p>⑧ その他京都市左京区役所と京都精華大学が協議して必要と認める事項</p> | <p>総合企画局<br/>市長公室<br/>広報担当</p>             |
| 5月9日  | <p><b>「とっておきの京都プロジェクト」DMC事業支援制度の創設について</b></p> <p>（公社）京都市観光協会では、観光地経営事業者（DMC）による市内周辺部（伏見、大原、高雄、山科、西京、京北等）への継続的な誘客に繋がる新たな取組を支援・協力する制度（「とっておきの京都プロジェクト」DMC事業支援制度）を創設しました。</p> <p>本制度は、地域に根差し、継続的に地域の魅力や地域資源の新たな価値を提供し続ける事業に対して、事業費の2分の1（1件あたり上限500万円）の助成に加え、マーケティング、観光コンテンツの開発、地元との関係構築等を支援することで、観光による地域活性化の柱となるDMCを育成し、継続的な地域活性化を推進するものです。</p> <p><b>募集内容</b></p> <p>次の3つを満たす提案を広く募集します。</p>   | <p>産業観光局<br/>観光MICE推進室<br/>（公社）京都市観光協会</p> |

|      |   |  |
|------|---|--|
|      | <p>1 「とっておきの京都～定番のその先へ～」プロジェクトの趣旨に則り，地域と連携しながら，京都市が抱える観光課題の解決を図る事業</p> <p>2 市内周辺部を面的に観光地として捉え，観光地を運営するという観点から，当該エリアへの観光客の誘客等を図ることにより，地域活性化，文化の継承・発展等に寄与する事業</p> <p>3 本事業による支援終了後も継続して実施する事業</p>   |  |
| 6月1日 | <p><b>【広報資料】「京都文学賞」の作品及び読者選考委員の募集開始について</b></p> <p>京都市では，昨年の世界文化自由都市宣言40周年を契機として，京都における文学の振興に寄与するとともに，「文化都市・京都」の発信や，京都の歴史と魅力の再認識，都市格の向上につなげるため，新たに「京都文学賞」を創設しました。</p> <p>1 作品募集について</p> <p>(1) 募集期間<br/>令和元年6月1日から9月30日まで</p> <p>(2) 募集作品<br/>京都を題材とする未発表の「小説」（ジャンル不問）</p> <p>(3) 応募区分<br/>「一般部門」，「中高生部門」，「海外部門」（プロ・アマを問わない。）</p> <p>2 読者選考委員の募集について</p> <p>(1) 募集期間<br/>令和元年6月1日から7月31日まで</p> <p>(2) 募集人員<br/>40名程度</p> <p>(3) 役割</p> <p>ア 二次選考【11月下旬～12月頃／全読者選考委員】</p> <p>イ 最終選考【令和2年2月頃／主催者が選定する読者選考委員若干名】</p> | <p>文化市民局<br/>文化芸術都市推進室<br/>文化芸術企画課</p> |
| 6月3日 | <p><b>「大学のまち京都・学生のまち京都アプリ（仮称）」開発学生プロジェクト 参加学生の募集について</b></p> <p>「京都ならではの学び・魅力向上」協議会は，京都でしか味わえない学生生活を実現する様々な取組や学生向けの各種情報を，学生に直接かつ確実に届けるため，学生向けアプリ（「大学のまち京都・学生のまち京都アプリ（仮称）」）の開発を行います。</p>   | <p>総合企画局<br/>総合政策室<br/>大学政策担当</p>      |

|  |  |  |
|--|--|--|
|  | <p>この度、より多くの学生に利用していただくけるアプリとするため、学生ならではの視点でアプリ機能の検討等を行う「大学のまち京都・学生のまち京都アプリ（仮称）」開発学生プロジェクトチーム（以下、「プロジェクトチーム」という。）を立ち上げ、参加学生を募集します。</p> <p>1 プロジェクトチームの概要</p> <p>京都で学生生活を送る学生のためのアプリを、より多くの学生に利用してもらうために、10人の学生（※）が2チームに分かれ、学生ならではの視点で、アプリ機能やPR策の企画検討等を行います！</p> <p>※ 10人の内、8人を公募し、残り2人は協議会が指定する学生により構成。</p> <p>2 募集期間 令和元年6月3日（月曜日）～6月30日（日曜日）</p> <p>3 定員 8名（先着順。定員になり次第締め切り）</p> <p>4 対象大学コンソーシアム京都に加盟する大学、短期大学に在籍する学生（留学生大歓迎！）</p> <p>5 活動場所 キャンパスプラザ京都（京都市下京区西洞院通塩小路下る）他</p> <p><b>【活動内容】</b></p> <p>(1) アプリの機能（学生ならではの機能等）の企画検討</p> <p>(2) アプリ PR 手段の企画検討</p> <p>(3) アプリの機能に応じた関係事業者（学割を行う店舗等を想定）への訪問</p> <p>(4) アプリ開発に関する専門家による研修の受講</p> |  |
|--|--|--|